

台風がすぎ、今日は気温上昇、昼の陽ざしは強いです。コンクリートの照り返しの熱さもすごいですね。ふと見ると、アジサイの花には涼しさを味わえるいい季節です。

さて、こんな話題の提供がありました。下記を是非一読を、皆さんどうでしょうか。「正直、ジャマされてる気持ちになる」相づちを巡る日本とフィンランドの感覚の違い  
→<https://news.yahoo.co.jp/articles/700f61d980d603396f39f93aa3fe66c928737ebb>

相づち、頷きなどは、大事なコミュニケーションの一つですが、人によってはうるさく感じる方もいるかも知れません。そうですね。その辺の関わりには、反応がないと、聞いているのかな～、わかっているのかな～と不安にもなったりするようで、なかなか難しいですね。相づちの回数やタイミングを図りながらでしょうか。読んでみて、そうか～、そこはちゃんと意識していかないといけないことだと改めて気づかされた話題でした。

産業保健アドバイザー（両立支援）・小野田富貴子さんが着任いたします。6月6日からです。6月のスケジュール表を添付いたします。どうぞ宜しくお願いいたします。(菅野)

## 目次

### 1 今月の現場から（保健師コラムリレー）

～「働きたい」という社員の思いに主治医と職場の橋渡し役として  
できること～

### 2 【173-3】 労災疾病等医学研究普及サイトのご案内

### 3 「道路貨物運送業における過労死等としての精神障害の労災認定事案について」

### 4 関連情報

#### 1 今月の現場から（保健師コラムリレー）

～「働きたい」という社員の思いに主治医と職場の橋渡し役として  
できること～

NX 商事株式会社仙台支店総務部 保健師 後藤豊美

<https://www.ryoritsushien.johas.go.jp/staff.html>

職場の産業保健看護職として、両立支援の対応がスタートするきっかけはご本人からの相談もしくは管理監督者からの相談がほとんどです。ご本人からの相談内容としては、「がん」と診断され手術や抗がん剤での治療が始まるという状況の中、精神的にショックを受け、とても悲観的になっている状態がみられます。そのため、まずはご本人のお話をゆっくり聴くようにしています。お話の内容から、何に対して不安があるのかを一緒に整理していきます。「仕事を続けていくことができるのだろうか」という不安に対しては、休職制度の説明を行い、十分治療に専念できるだけの休暇が取得可能であることを説明します。具体的には、年次休暇の残日数や給与補償のある傷病欠勤の日数（勤続年数によって異なる）に加え、1年の休職期間があることをお伝えします。職場復帰後の通院には、時間休暇や年次休暇の取得ができるよう年次休暇を残した形で傷病欠勤を使うこともできるため、ご本人へ確認を行うようにしていま

す。また同時に、金銭的な不安に対しては、限度額適用認定証の発行ができることや休職期間中に傷病手当金の受給ができることを案内し、総務担当者へ手続きを依頼しています。

(\*まだ続きますので、ぜひアクセスして読んでください。よろしく！ 菅野)

## 2 【173-3】 労災疾病等医学研究普及サイトのご案内 <労働安全衛生総合研究所より> 「早期復職」について

- 現在、がんはわが国における死因のトップであり、2～3人に1人は生涯の間がんと診断されます。また、がんと診断された方の3人に1人は就労可能な年齢でがんと診断されており、がんと診断された後も仕事を続ける勤労者は今後増えることが予想されています。
- がん患者さんが復職するために最も重要なことは、体力の維持・増進とされており、そのためには「運動療法」と「食事療法」が効果的であると考えられています。
- 平成30年7月から開始した本研究（消化器癌（食道癌、胃癌、大腸癌）手術患者における蛋白質の補充と運動療法が骨格筋の増加に及ぼす影響に関する研究）では、がん治療の手術を受ける患者さんを対象として、持久力や筋力を強化する「運動療法」と、最適な蛋白質を摂取する「食事療法」を手術前から一定期間実施します。退院後9週目まで血液検査や体力測定等を行うとともに、復職の状況を調査します。
- 復職を目指すがん患者さんに対して、「運動療法」と「栄養療法」を行い、持久力や筋力の効率的な改善ができれば、患者さんの早期復職とキャリアおよび職業生活の維持に大きく寄与できると考えています。
- 中間報告として、令和4年6月までに予定登録数の50症例を収集し、統計解析を実施しています。令和5年度中に研究成果を取りまとめる予定です。

本研究の詳細については、「労災疾病等医学研究普及サイト」をご覧ください。

<https://www.research.johas.go.jp/souki2018/index.html>

## 3 【173-2】 コラム <労働安全衛生総合研究所より>

「道路貨物運送業における過労死等としての精神障害の労災認定事案について」

(過労死等防止調査研究センター 特定有期雇用職員 茂木伸之)

道路貨物運送業で働く人々の精神障害を雇用者100万人当たりの労災補償の支給決定件数でみると、令和2年度を除き支給決定件数の多い3業種の中で最多であることが分かりました。この業種では過労死等としての脳・心臓疾患が最多であることはよく知られていますが、精神障害も上位を占めることに注意を払う必要があります。当コラムでは、道路貨物運送業の精神障害の労災認定事案を対象とした当研究所の「精神障害の調査復命書のデータベースかつ労災認定事案」の研究結果をご紹介します。

↓↓↓ 以下のリンク先で内容をご覧ください。 ↓↓↓

[https://www.jniosh.johas.go.jp/publication/mail\\_mag/2023/173-column-1.html](https://www.jniosh.johas.go.jp/publication/mail_mag/2023/173-column-1.html)

#### 4 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

(1) 第38回がん検診のあり方に関する検討会（資料）

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/?p=HfnwT6eDkqnOcACPY>

・ [議事次第 \[PDF形式：71KB\]](#)

・ [資料1 第4期がん対策推進基本計画を踏まえた今後の検討事項について \[PDF形式：1014KB\]](#)

・ [資料2 子宮頸がん検診へのHPV検査の導入について（青木参考人） \[PDF形式：1.3MB\]](#)

・ [資料3 職域におけるがん検診について \[PDF形式：958KB\]](#)

・ [資料4-1 がん検診事業のあり方について（案） \[PDF形式：6.4MB\]](#)

・ [資料4-2 がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針 新旧対照表（案） \[PDF形式：195KB\]](#)

・ [参考資料1 構成員名簿 \[PDF形式：128KB\]](#)

・ [参考資料2 開催要綱 \[PDF形式：132KB\]](#)

・ [参考資料3 「がん検診のあり方に関する検討会」における議論の中間整理 \[PDF形式：674KB\]](#)

・ [参考資料4 HPV検査を導入した子宮頸がん検診に対する日本産科婦人科学会の考え方 \[PDF形式：139KB\]](#)

・ [参考資料5 令和4年度 HPV検査検診導入提言WG 議事録サマリ \[PDF形式：466KB\]](#)

・ [参考資料6 がん検診事業評価報告書の更新について \[PDF形式：426KB\]](#)

・ [参考資料7 がん検診事業のあり方について（案）令和4年12月 \[PDF形式：4.1MB\]](#)

○ 【参考までに ※職域におけるがん検診に関するマニュアル】

<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10901000-Kenkoukyoku-Soumuka/0000204422.pdf>

○ 【参考までに ※第1362回 会員セミナー がんを知って、がん備える（P26）】

佐野 武 氏 公益財団法人がん研究会 有明病院

[https://www.doyukai.or.jp/publish/uploads/docs/2023\\_5\\_P26\\_semi\\_SANO.pdf](https://www.doyukai.or.jp/publish/uploads/docs/2023_5_P26_semi_SANO.pdf)

<広報誌「経済同友5月号」より>

(2) 6月は「外国人労働者問題啓発月間」です

「誰もが活躍できる職場づくりを進めよう ～外国人雇用はルールを守って適正に～」  
が今年の標語です

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/?p=5QEOQY8tph53E\\_R3Y](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/?p=5QEOQY8tph53E_R3Y)

(3) 広報誌「厚生労働」6月号

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=h2Nq1T0ZCDNU6okVY>

▶特集：世界が注目する新しい働き方「労働者協同組合」の可能性

昨年10月、「労働者協同組合法」が施行され、これまでと違う働き方を可能とする「労働者協同組合」が19都道府県に計39法人誕生しています（今年5月1日時点）。労働者協同組合は、①労働者が組合員として出資し、②各自の意見を適切に反映しながら、③組合の事業に従事する——という3つの基本原理によって運営され、A)自ら出資し（NPO法人の場合は出資を受け入れることが認められず、寄附金が重要な財源となっています）、B)働く人たちが自身の意見が事業に反映されるから、やる気も起きやすい——という2つのメリットを持った新しい組織です。

しかも設立は、行政の許認可が不要で、3人以上が集まって登記するだけで可能です。

▶特別企画：映画『オレンジ・ランプ』タイアップ企画

あなたの大切な人が認知症になったら？

▶TOPICS：11社のケーススタディに学ぶ 副業・兼業のルールと労働時間・健康管理

▶ソーシャル・チャレンジャーズ：株式会社ハミエル 集団歯科健診の支援

▶未来のつぼみ：過労死ゼロの社会実現をめざして

▶新型コロナウイルス最前線：5類感染症移行後の対応について

(4) 「健康日本 21（第三次）」を推進する上での基本方針を公表します

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=W7-w\\_zGTGKDJrU\\_JY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=W7-w_zGTGKDJrU_JY)

1. 【資料1】国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針の全部を改正する件 [PDF形式：409KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/001102267.pdf>

2. 【資料2】参考資料 [PDF形式：1,166KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/001102264.pdf>

(5) 『『ダメ。ゼッタイ。』普及運動』を6月20日から実施します～薬物乱用防止のためのキャンペーンと国連支援募金運動を全国各地で実施～

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E\\_f4t3nbUOiB5QaBY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E_f4t3nbUOiB5QaBY)

(6) 「雇用の分野における障害者の差別禁止・合理的配慮の提供義務に係る相談等実績（令和4年度）」を公表します

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=Y4elxwmrlJjxlWDxY>

◇ J I L P T から

(1) 職場における熱中症による死傷災害の発生状況を公表／厚労省

厚生労働省は5月29日、2022年の職場における熱中症による死傷災害の発生状況（確

報値)を公表した。職場での熱中症による死傷者(死亡および休業4日以上)の業務上疾病者)数は827人、うち死亡者数は30人。過去10年間の死傷者数をみると、2013年～17年は400～500人台で推移。記録的猛暑となった2018年(1,178人)に最多を記録して以降、変動があるものの減少している。18年以降の発生状況について、業種別では建設業、製造業が多く、年齢別では全体の約5割を50歳以上が占めている。また、あわせて実施中の「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」(5月31日から9月30日まで)について、周知している。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_33275.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33275.html)

(令和4年 職場における熱中症による死傷災害の発生状況)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11303000/001100761.pdf>

(「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」実施要綱)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11303000/001100767.pdf>

(同リーフレット)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11303000/001100768.pdf>

## (2) <ドイツ> 慢性化する人材不足の対応策

ドイツの雇用主は伝統的に、仕事に合致した正式な資格(職業資格・教育資格)を有する人材を採用してきた。しかし、現在、多くの産業で人材不足が慢性化しており、「他産業からの転職者(Quereinsteiger)」や「職業転換訓練(Umschulung)」の活用に注目が集まっている。

(JILPT 調査部)

[https://www.jil.go.jp/foreign/jihou/2023/06/germany\\_01.html?mm=1872](https://www.jil.go.jp/foreign/jihou/2023/06/germany_01.html?mm=1872)

## (3) 相談受付件数、「パワハラ・嫌がらせ」が最多/連合「労働相談ダイヤル」(4月)

連合は18日、「なんでも労働相談ダイヤル」2023年4月分集計結果を発表した。受付件数は1,103件(前年同月比238件減)。相談の内容は、「パワハラ・嫌がらせ」(16.6%)が最多、次いで「雇用契約・就業規則」(9.9%)、「解雇・退職強要・契約打切」(9.5%)など。業種別では「医療・福祉」(21.2%)が最多、次いで「サービス業(他に分類されないもの)」(19.0%)、「製造業」(13.3%)など。

[https://www.jtuc-rengo.or.jp/soudan/soudan\\_report/data/202304.pdf](https://www.jtuc-rengo.or.jp/soudan/soudan_report/data/202304.pdf)

## (4) キャリアは「自身で主体的に選択したい」は6割超/民間調査

就職・転職サイトの運営等を行う(株)学情は19日、2025年3月卒業(修了)予定の大学生等を対象とした「キャリア形成」に関する調査結果を公表した。キャリア形成を「自身で主体的に選択したい」は64.2%で、「就職する企業に委ねたい」(15.6%)の4倍超。また、「ジョブ型」採用については、「興味がある」(44.6%)と「どちらかといえば興味がある」(36.8%)をあわせると8割を超え、前年比13.8ポイント増となった。

<https://service.gakujo.ne.jp/press/230512>

◇ ◆【From\_M】から 情報提供有難うございます

◆ANO2022 参加記が掲載されました 日本産業衛生学会 産業衛生技術部会

<https://plaza.umin.ac.jp/jsoh-ohe/>

2022 年にインドネシアで開催されたアジア産業衛生ネットワーク学会(ANO2022)の参加記事が「健康開発」誌に掲載されました。

こちらをご参照ください。

[https://plaza.umin.ac.jp/jsoh-](https://plaza.umin.ac.jp/jsoh-ohe/files/ANO2022/%E5%81%A5%E5%BA%B7%E9%96%8B%E7%99%BA27-3_P69-72.pdf)

[ohe/files/ANO2022/%E5%81%A5%E5%BA%B7%E9%96%8B%E7%99%BA27-3\\_P69-72.pdf](https://plaza.umin.ac.jp/jsoh-ohe/files/ANO2022/%E5%81%A5%E5%BA%B7%E9%96%8B%E7%99%BA27-3_P69-72.pdf)

※この記事は、『健康開発』誌（令和 5 年 3 月号）

<https://www.e-bio.co.jp/publication/kenkan27.html#3>

に掲載されたもので、発行元の特定非営利活動法人健康開発科学研究会

<https://www.e-bio.co.jp/health-development/>

の許可を得て転載しています。健康開発科学研究会は産業保健について企業や大学等の立場から実践的で闊達な意見交換をする場として活動しており「健康開発」誌は同研究会の季刊誌です。

◆Action(活動) 週刊 経団連タイムス 2023 年 6 月 1 日 No.3592

「DX 時代の労働安全衛生のあり方に関する提言」を公表

[https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2023/0601\\_02.html](https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2023/0601_02.html)

経団連は 5 月 16 日、「DX 時代の労働安全衛生のあり方に関する提言」を公表した。Society 5.0 の実現に向けて、医療や教育等の各分野でデジタルトランスフォーメーション (DX) が重要政策課題となるなか、労働安全衛生分野においても、デジタル技術とデータの活用を中心とした効率的・効果的な労働災害防止活動を模索していくことが欠かせない。そこで、政府に求める規制・制度改革等を提言として取りまとめた。概要は次のとおり。

◆がん対策推進企業アクション

○教えて中川先生！第 45 回 YouTube 講座「女性のがん対策に関心が薄いのは？

【認定講師との対談編④】」を配信しました

<https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/movie/index.html>

○教えて中川先生！第 44 回 YouTube 講座「子宮頸がんはワクチンで`予防できないか

【認定講師との対談編③】」を配信しました

<https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/movie/index.html>

○【企業アクション×がん研有明病院 コラボ企画】がん専門医「出張講座」の受付開始しました！

[https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/ariakecollabo\\_2023/index.html](https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/ariakecollabo_2023/index.html)

○令和 4 年度 推進パートナー企業・団体向けアンケート調査結果報告を公開しました

[https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/report/research\\_230412.html](https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/report/research_230412.html)

[https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/pdf/research\\_230412.pdf](https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/pdf/research_230412.pdf)

◆第13回「精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会」資料

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_33235.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33235.html)

議事次第 [PDF形式：50KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11201000/001101513.pdf>

資料1 精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会報告書(案) [PDF形式：2,151KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11201000/001101516.pdf>

資料2 第12回検討会の議論の概要 [PDF形式：152KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11201000/001101517.pdf>

参考資料 団体からの意見要望(全国労働安全衛生センター連絡会議) [PDF形式：466KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11201000/001101519.pdf>

◆第24回過労死等防止対策推進協議会資料 令和5年5月29日

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_33331.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33331.html)

<資料>全体版資料 [PDF形式：5.5MB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11201000/001100508.pdf>

<資料> 資料1 厚生労働省における過労死等の防止対策の実施状況

資料2 過労死等防止のための対策(人事院)

資料3 内閣人事局における過労死等の防止対策の実施状況(令和4年度)

資料4 総務省における過労死等の防止対策(令和4年度)の実施状況

資料5 学校における働き方改革の推進について(文部科学省)

資料6 「過労死等防止対策推進法」及び「過労死等の防止のための対策に関する大綱」に基づく施策の実施状況(平成27年度～)

資料7 過労死等防止対策の推進(令和5年度予算の概要)

参考資料1 令和4年版 過労死等防止対策白書(概要版)英語版

参考資料2 過労死等防止対策推進協議会委員名簿(令和5年5月30日現在)

◆過労死防止の「勤務間インターバル制度」、導入率はわずか6% |

月刊総務オンライン

<https://www.g-soumu.com/articles/7176d718-fb48-43b1-8b3e-accdd5e4f43e>

◆令和4年「労働災害動向調査(事業所調査(事業所規模100人以上)及び総合工事業調査)」の結果を公表します

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/saigai/22/>

概況 [610KB]

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/saigai/22/dl/2022gaikyoku.pdf>

報道発表用資料 [209KB]

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/saigai/22/dl/2022houdou.pdf>

◆労働安全衛生の専門情報誌【労働安全衛生広報】 最新号「2023年6月1日号」

<https://anzen.chosakai.ne.jp/>

<https://anzen.chosakai.ne.jp/digest/pdf/aek-2023-06-01.pdf>

◆【医師監修】認知症治療の運動療法とは | リハビリのポイントや効果、注意点 -  
日刊介護新聞 by いい介護

<https://e-nursingcare.com/guide/dementia/rehabilitation/exercise-therapy/>

◆仕事と介護を両立させる7つのポイント | 現状と支援制度を解説 -  
日刊介護新聞 by いい介護

<https://e-nursingcare.com/guide/trouble/compatibility/>

◆【閲覧無料】経営情報誌『オムニマネジメント』6月号公開

特集は平野光俊氏『ポストコロナ時代のウェルネスマネジメントとは』

<https://noma.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjozMjQ2MDAsImNhdkVnb3J5TnVtIjo4ODEzfQ==&pNo=1>

<https://www.noma.or.jp/noma/omnimanagement/tabid/107/Default.aspx>

今号では、働く人々の心身の健康をベースとしたモチベーションや満足度向上にむけて、ウェルビーイングとは何か、取り組むにあたっての課題や方向性について考察します。

◆仕事への情熱を失ったあなたが、再び仕事に本腰を入れるためにすべきこと

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e50ebbad6005fcadcb79170b178b5793da522fae>

<https://dhbr.diamond.jp/articles/-/9612>

◆フリーランスの方のメンタルヘルスケア |

こころの耳：働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト

<https://kokoro.mhlw.go.jp/freelance/>

◇ 胃潰瘍で死亡は労災と認定 富山労基署が「異例」の判断 東京新聞 TOKYO web  
2023年6月4日 21時06分 (共同通信)

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/254614>

菅野 由喜子 (メンタルヘルス担当)

[yukikan28@gmail.com](mailto:yukikan28@gmail.com)

中山 篤 (メンタルヘルス担当)

[atsui78natsu@gmail.com](mailto:atsui78natsu@gmail.com)